



リカンベントバイク（準業務用）DK-1030A 取扱説明書



この度は リカンベントバイク（準業務用）DK-1030A をお買い上げいただきまして誠に有難うございます。

◎ まず、本説明書を最後までお読みください。

内容を十分ご理解いただいた上で正しくご使用ください。ますようお願い申し上げます。

◎ 本書巻末に「保証書」がついていますので、配送業者の送り状伝票とともに大切に保管してください。

◎ 本機は準業務用です。介護・福祉・教育の現場、ホテル・マンション・オフィスなどの共用設備として、また家庭用として軽頻度の運動向けに設計しています。利用目的は保証内容に影響しますので、予め用途をご確認くださいますようお願い申し上げます。

◎ 改良のため、デザイン・仕様を一部変更している場合があります。

※本書に記載されている数値は、実数と多少の差異が生じる場合があります。予めご了承ください。

安全上の注意

取扱説明書の注意及び警告内容は、危険の度合いによって2段階に別れております。記載されている内容をよく理解していただき、取扱説明書に従ってご使用ください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告 誤った取扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容



注意 誤った取扱いをすると人が障害を負う可能性及び物的被害の発生が想定される内容



警告

☆使用上の警告

- 1) 無理をせず軽いスピードから始めて下さい。
- 2) 急激な運動は体に負担が掛かりますので、少しでも異常を感じましたら運動を中止して医者にご相談下さい。
- 2) お子様、お年寄りの方が運動される際には、必ず付添の人をつけて行って下さい。お子様、お年寄り・体の不自由な方、病気をお持ちの方のトレーニング・リハビリ用にご使用の場合、必ずかかりつけの医師にご相談下さい。特に次のような方
(心臓病・高血圧・糖尿病・呼吸器疾患・妊娠中・ペースメーカー・人口心肺装着の方)
- 4) 分解・改造は行わないで下さい。内部点検や修理の際は販売店までお申しつけ下さい。
- 5) 各部の機能が正しく作動しているかどうか、またネジ・ボルト等の緩みやガタがないか、使用前に必ず点検して下さい。
- 6) 乗降する場合には、ハンドルや手すりにもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品及び使用者を押ししたり、引いたりしないで下さい。運動の妨げとなったり、安全性を損ないケガをしたりする場合があります。
- 7) 同時に2人以上でご使用なさないで下さい。
- 8) 裸足でのご使用はせず必ず、靴を履いて運動を行ってください。その際、紐等がペダル等にかからみつからないように処理してから行ってください。
- 9) 器機内部保護のため60分以上の連続使用はおやめ下さい。



注意

☆使用上の注意事項

- 1) トレーニングの前後に必ずストレッチ（準備体操）を入念に行ってください。
トレーニングをするたびに、筋肉はほんの少し傷みます。そのままにしておくと筋肉が縮み、その状態で数年間スポーツを行うと、筋肉が堅い弦の様に簡単に切れやすくなります。ストレッチは、必ずトレーニング前後に行うように習慣をつけましょう。
- 2) 食後のトレーニングはやめましょう。胃に流れる血液が、体を使うことによって胃に流れにくくなって消化に影響を与えるので、食後2時間位あけてトレーニングをして下さい。
- 3) 本機ご使用の時は、必ず運動靴を履き、回転、駆動部に巻き込まれる恐れのない紐等のない服装でご使用下さい。
- 4) 運動方法につきましては、使用方法以外での使用はおやめ下さい
- 5) 本機は軽頻度のトレーニング機（準業務用）として作られていますので、本格的にトレーニングを行う施設等でのご使用はおやめ下さい。
- 6) 異物を商品内部に入れないでください。異物が入ったまま使用すると、故障の原因となります、特にお子様のおられるご家庭では注意して下さい。
- 7) 体重が140Kg以上の方はご使用なさらないようにして下さい。
- 8) 速度30km/h以上・高い負荷での連続使用はおやめください。
- 9) サビの発生や調節不調、メーター等の故障の原因となりますので次の場所には設置、保管はしないで下さい。
 - ・直射日光、暖房設備、火気のために著しく温度が上昇する場所
 - ・屋外（屋根付きのガレージ等を含む）の設備や浴室付近等の湿気の多い場所
 - ・砂ぼこり、磁気や電氣的雑音の発生しやすいものの近く
 - ・室温差が著しく変化するところや床面がコンクリートの打ちっ放しのところ*本機の下だけにマット等を敷いている場合も含まれます。
- 10) 使用しない場合には、作動しない状況にし、特に幼児が触らない様注意して下さい。

☆保管上の注意事項

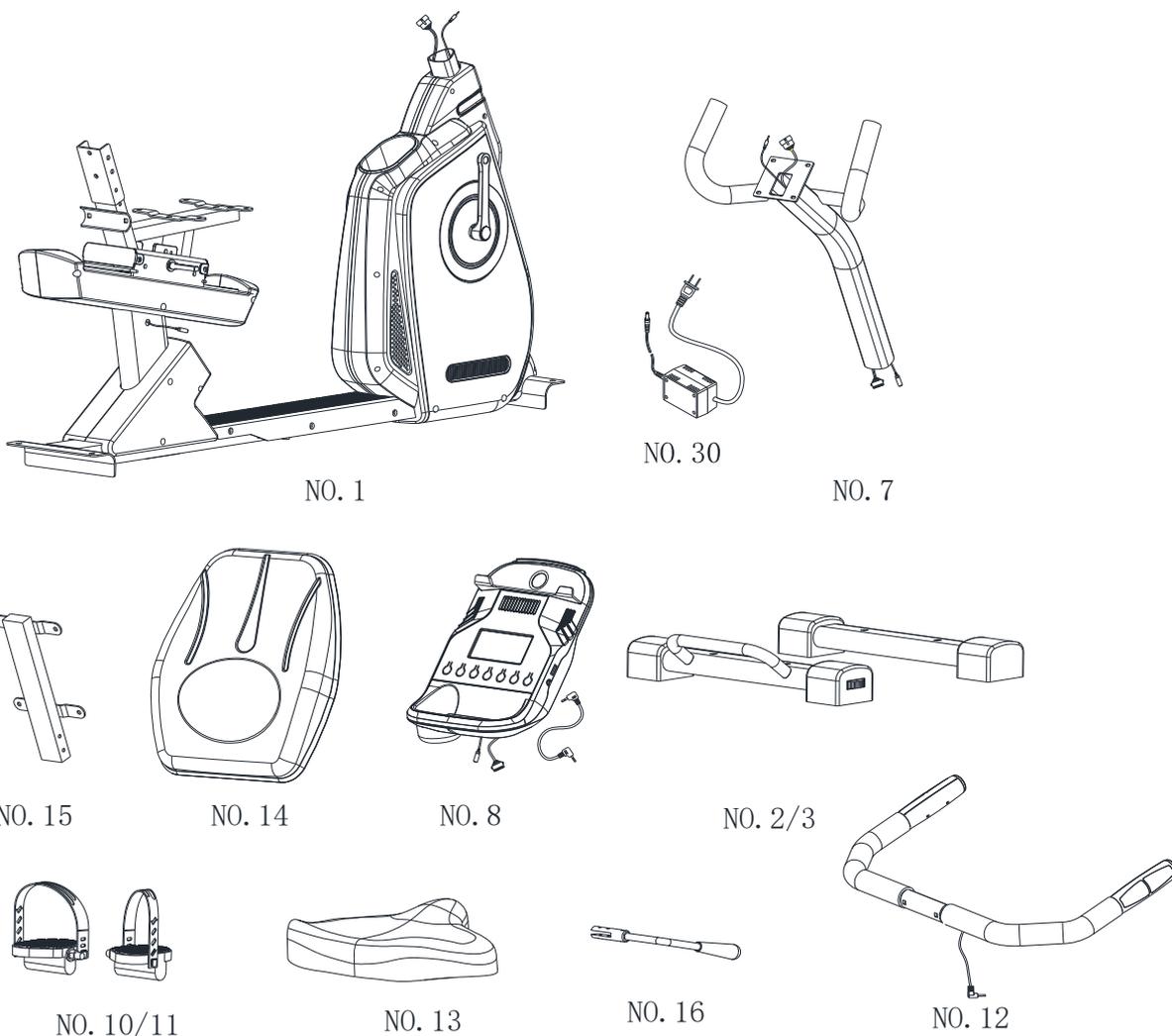
- ご使用前にはハンドル・手すり・接合部分のガタや、緩み等がないよう確認して下さい。
- 本機は使用中の運動が十分確保できる水平な床面に設置して下さい。
- 本機の本体部分に、電気機器等は絶対に置かないで下さい。
- 本体カバー部は樹脂製です。カバー部・ハンドルには絶対に寄りかかったり、乗らないで下さい。
- カバー類(エンド、本体カバー、柱類)、ハンドル部ラバー、本体、支柱等のへこみ、傷等に関しては、初期不良以外すべて有償になります。
- 使用場所の周囲に物を置くと、思いがけないケガや事故、電子機器の故障につながりますので、必ず整理整頓してからご使用下さい。
- 本機は必ず平らな場所に設置して下さい。
- 廊下やフローリングまたは畳の部屋で組立てやご使用になると、床を傷つける場合があります。必ず、布やカーペットを敷いて傷を付けないようにして下さい。
- 本機を廃棄する場合は、粗大ごみとして各自治体の方法に従って処理してください。

製品仕様

品名	リカンベントバイク（準業務用）	材質・構造	スチールパイプ・ウレタン・ABS樹脂
品番	DK-1030A		
本体サイズ	W63×L140×H123（cm）	電源	AC100V（50～60kHz）
本体重量	39kg	負荷調整	電動式（32段階）
体重制限	140kg	脈拍方式	簡易ハンドグリップ式
生産国	中国		

パーツ早見表

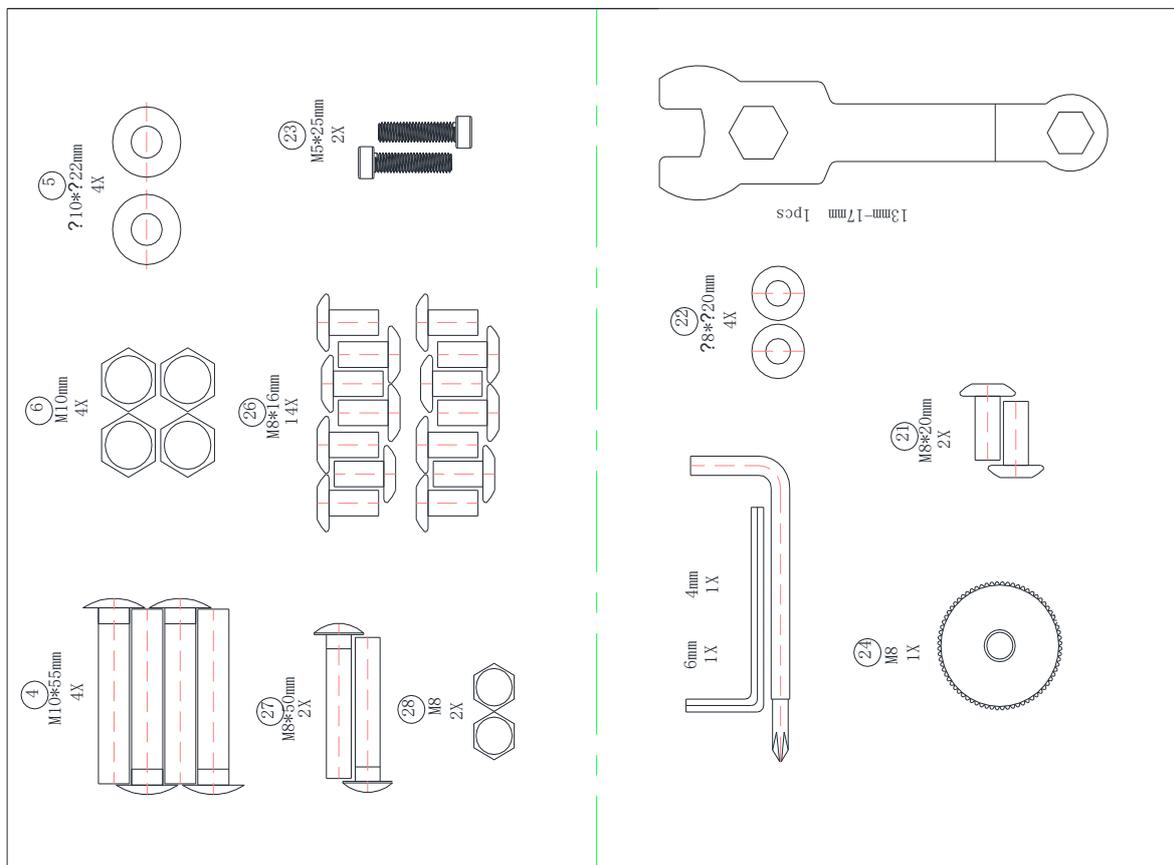
パーツ表の中には本体に装着されているものがあります。
ステップごとに必ず確認してから組立てをおこなってください。



①	本体	⑫	アーム
②	リアスタンド	⑬	シート
③	フロントスタンド	⑭	背もたれ
⑦	ハンドルポスト	⑮	背もたれフレーム
⑧	パネル	⑯	シートレバー
⑩	ペダル (R)	⑳	AC アダプター
⑪	ペダル (L)		MP3 コード

ツールパックリスト

ツールパックにあるものはすべて組立の際に使う部品です。
全てのパーツが揃っているかご確認をお願いいたします。



No.	パーツ名	個数	No.	パーツ名	個数
④	ボルト M10x55L	4	②⑥	ボルト M8x16L	14
⑤	ワッシャ φ10xφ22	4	②⑦	ボルト M8x50L	2
⑥	ナット M10	4	②⑧	ナット M8	2
②①	ボルト M8x20L	2		4 mm L 字レンチ	1
②②	ワッシャ φ8 x φ20	4		6 mm L 字レンチ	1
②③	ボルト M5x25L	2		スパナ	1
②④	調整脚	1			

組立説明

組立を始める前のご注意

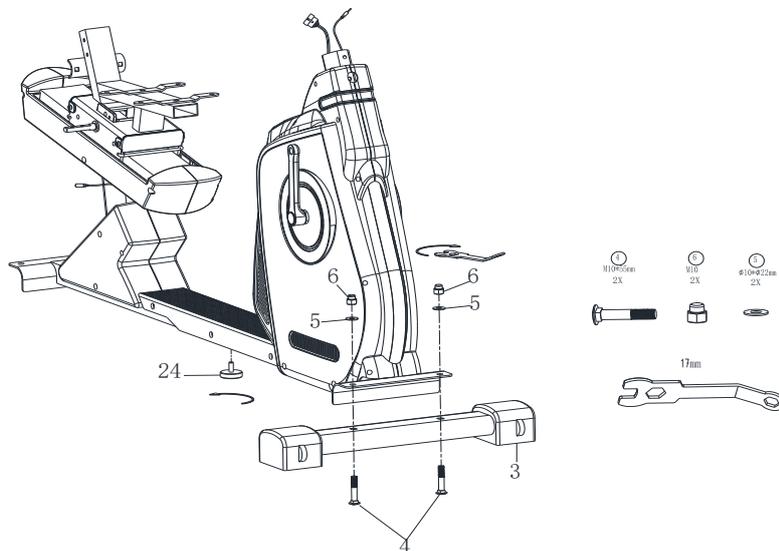
- ※ ボルト等は本体に仮止めされているものがありますので、その都度確認をしてから組立を行ってください。
- ※ 広い場所を確保した上で作業を始めて下さい。
- ※ 開梱及び組み立て時は、必ず2人以上で行って下さい。
- ※ 本機を箱から出したら、本体が床面と水平になるよう設置した上で組立を行ってください。
- ※ 組立時、ボルトは仮止めにして、全体が組み上がってから、スパナ（レンチ）にて再度強めにネジをしめてください。

組立方法

Step 1

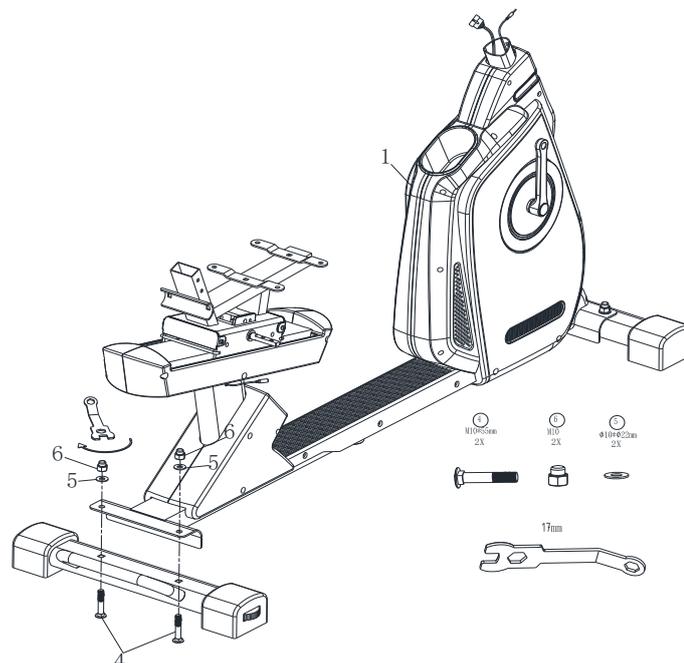
(まず、本体のスタンド取り付け側に付いている保護材を外してください。)

1. 本体(1)前方にフロントスタンド(3)をボルト(4)、ワッシャ(5)とナット(6)各2つで固定します。
2. 調整脚(24)を本体(1)に取付けます、ポジションは本体の裏側にあります。



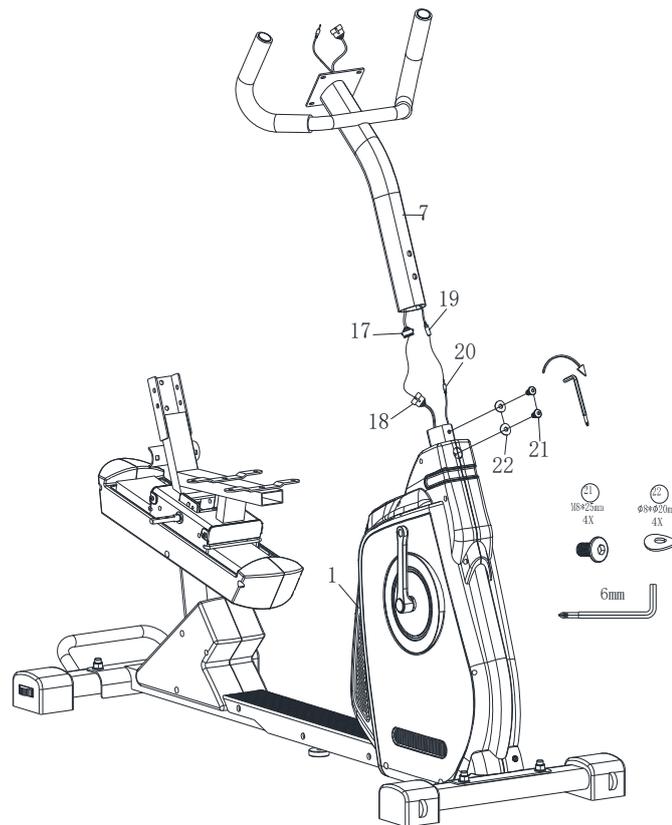
(まず、本体のスタンド取り付け側に付いている保護材を外してください。)

3. 本体(1)後方にリアスタンド(2)をボルト(4)、ワッシャ(5)とナット(6)各2つで固定します。



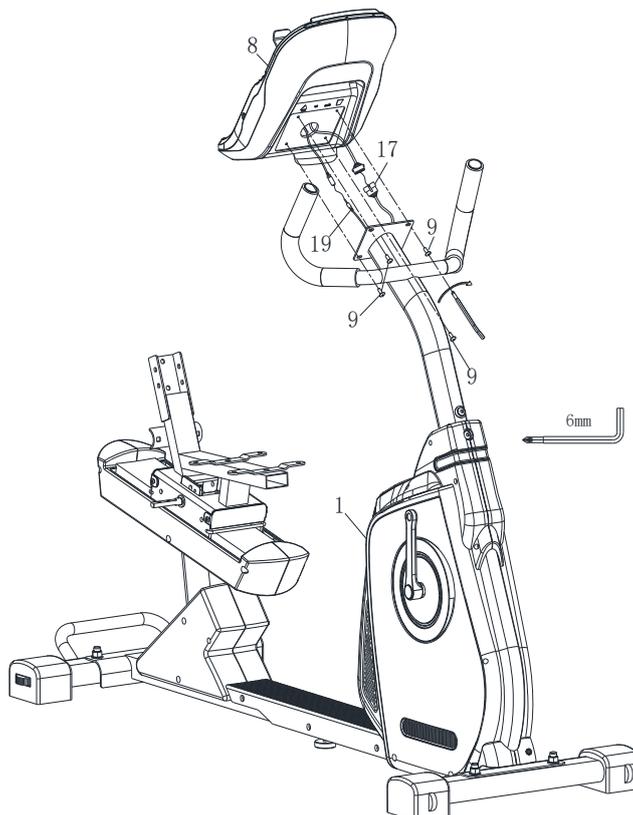
Step 2

1. 本体(1)から出ている配線とハンドルポスト(7)の配線コネクター(17&18)、(19&20)を各々接続します。コネクターを接続し終わったら、本体(1)にハンドルポスト(7)を差し込み、前方からワッシャ(22)とボルト(21)各二つで固定します。



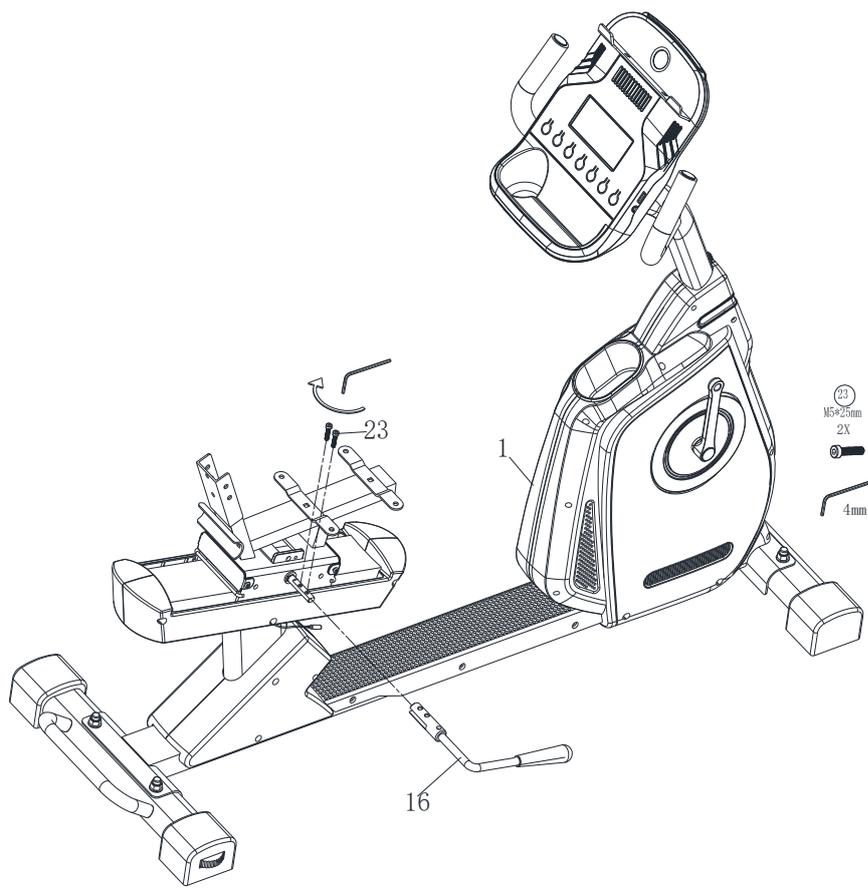
Step 3

1. パネル(8)に仮止めされているネジ(9) 4本を取り外します。
ハンドルポスト(7)からの配線コネクタ(17&19)とパネルの配線コネクタ2本を接続します。
2. パネルをハンドルポストの取付位置に合わせネジ(9)で固定します。



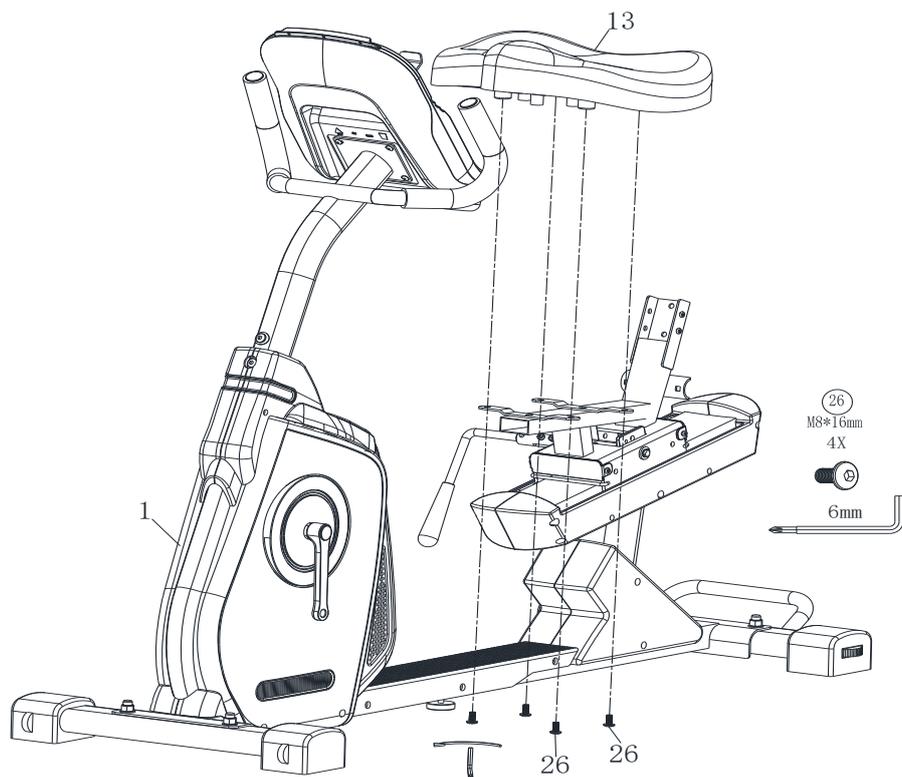
Step 4

1. シートレバー (16) をシートステーに取付けます。 ボルト (23) 2本で固定します。



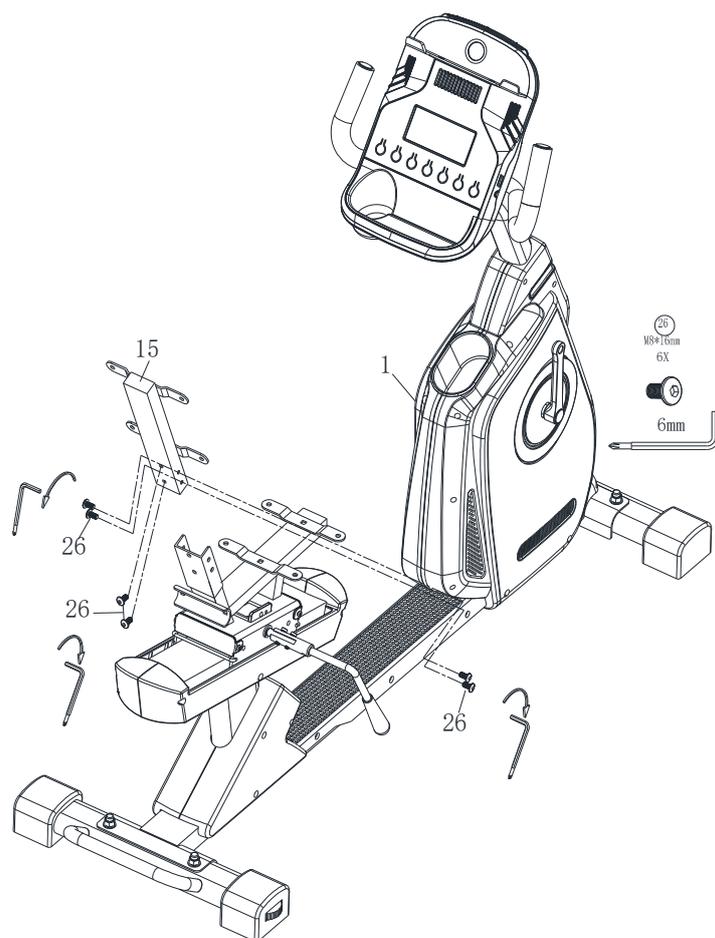
Step 5

1. シートフレームにシート (13) を取り付け、ボルト (26) 4本で締め付けます。



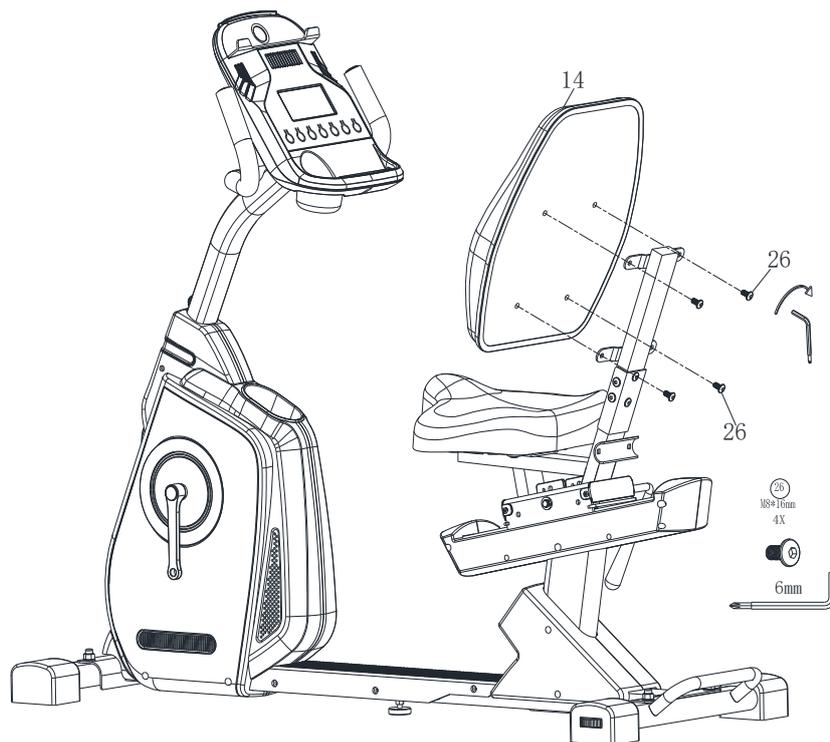
Step 6

1. 背もたれフレーム (15) をシートフレームに取り付けます。両サイドはボルト (26) 各 2 本で、後ろはボルト (26) 2 本で 3 方向を固定します。



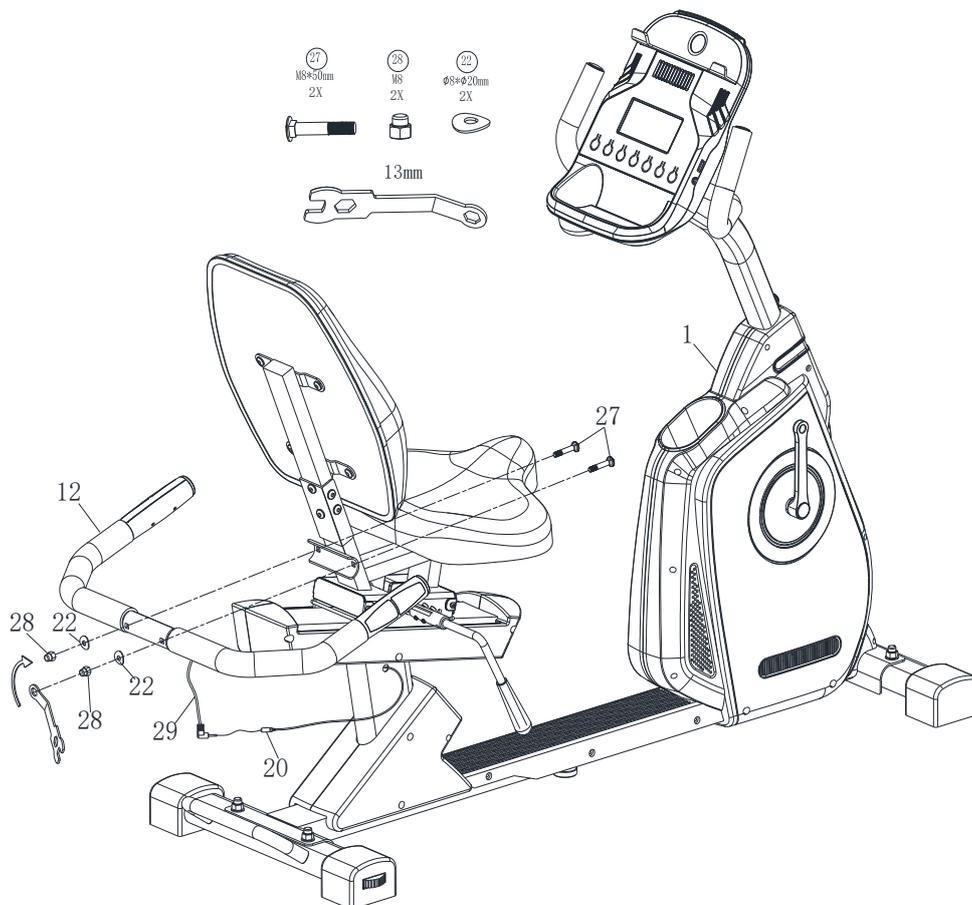
Step 7

1. 背もたれフレーム (15) に背もたれ (14) を取り付け、ボルト (26) 4 本で締め付けます。



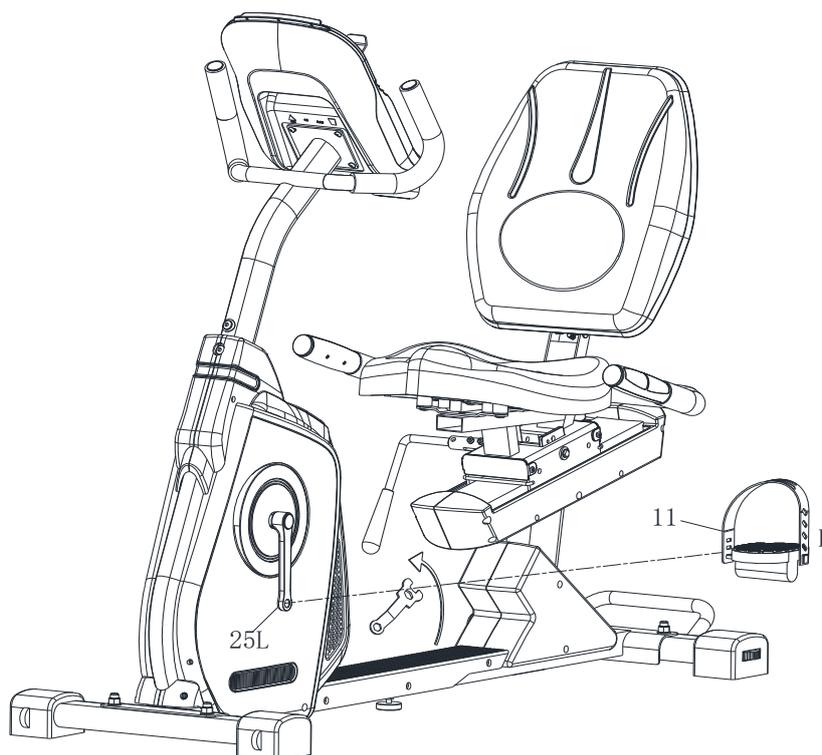
Step 8

1. アーム (12) をシートフレームに取り付け、ボルト (28) とワッシャ (22) 各2つで締め付けます。
2. 本体から出ている配線 (20) とアーム(12)の配線コネクタ (29) を接続します。

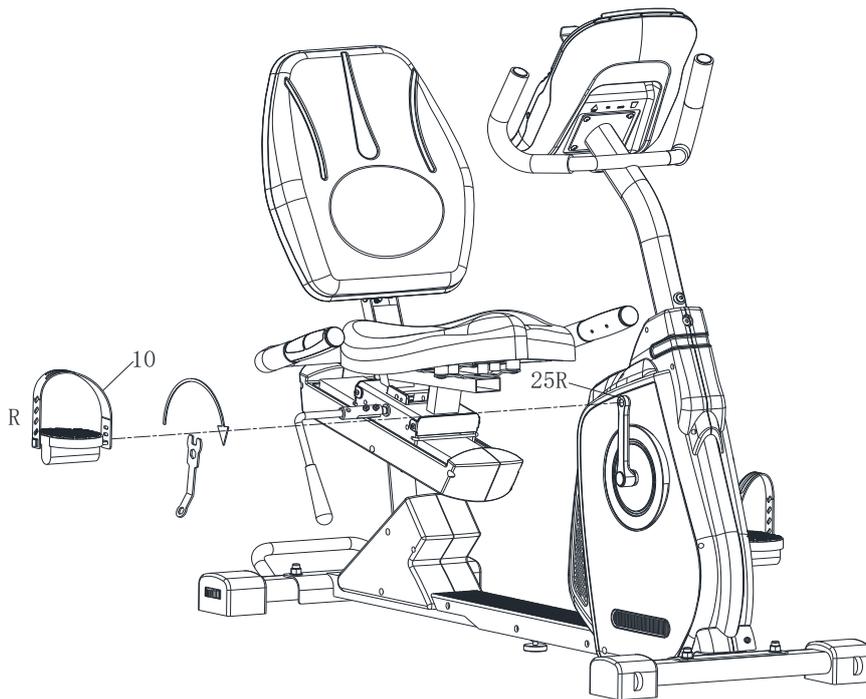


Step 9

1. 左ペダル(11L)を左クランク(25L)にしっかりとねじ込みます。左ペダルは、反時計回りに回して締めてください。

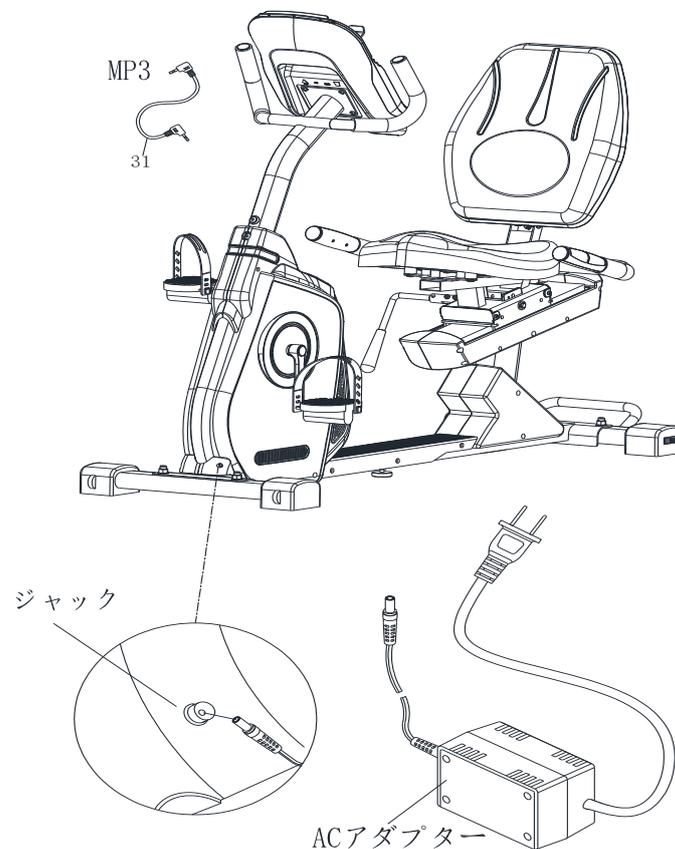


2. 右ペダル (10R) を右クランク (25R) にしっかりとねじ込みます。右ペダルは時計回りに回して締めます。
クランク及びペダルにはL(左)・R(右)の印があります。必ず同じ印の物を取り付けて下さい。



Step 10

1. ACアダプターを本体前方のジャックに差込、コンセントに接続し、パネルが点灯するのを確認してください。
2. MP3コードをパネルの裏側に差し込み携帯などと接続すると音楽を聞き出すことができます。

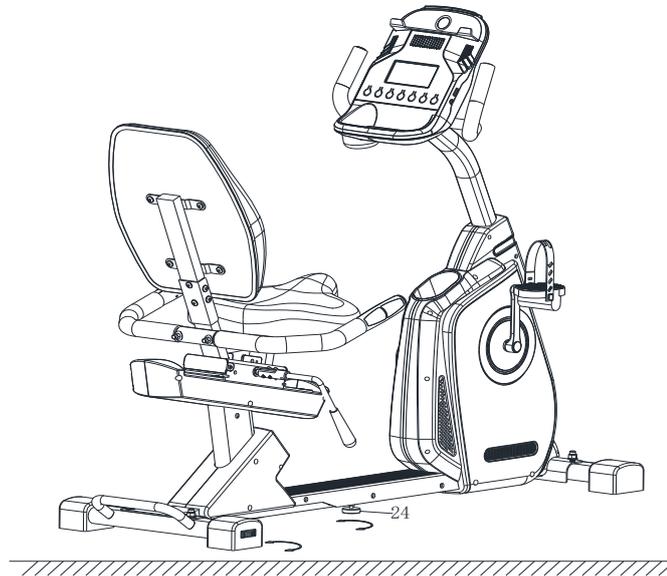


締め付けが弱いと異音の原因となります。
ネジ山が合っていないまま締めつけると、ネジ山が壊れますのでご注意ください、以上で完成です。

各部位の調節

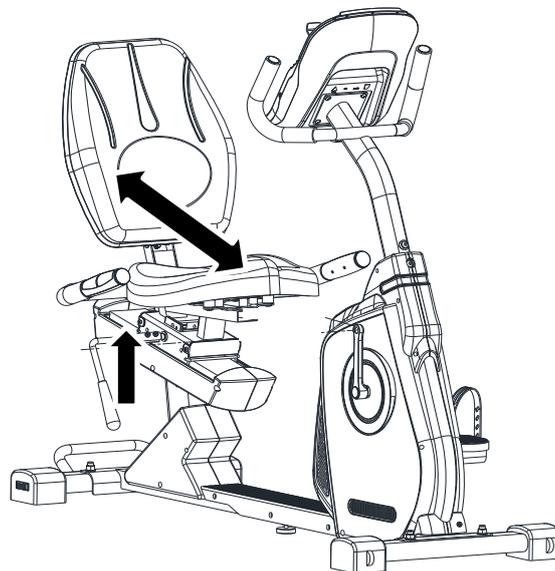
(1) 水平の調整

リアスタンドのエンドキャップにダイヤルが付いています。そのダイヤルを左右に回して、水平に調整できます。本体にある調整脚(24)を調整しても水平の調整に効果あります。



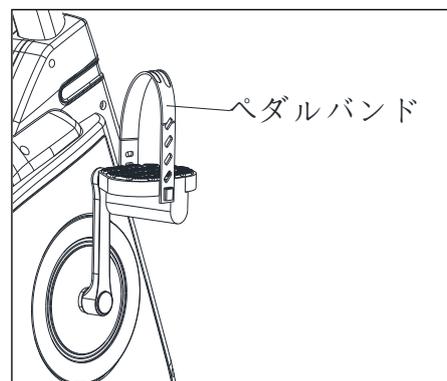
(2) シート前後スライドの調節

シートレバーを上げるとシート前後位置が自由になります。自分に合った位置に調整後、シートレバーを倒し、固定します。



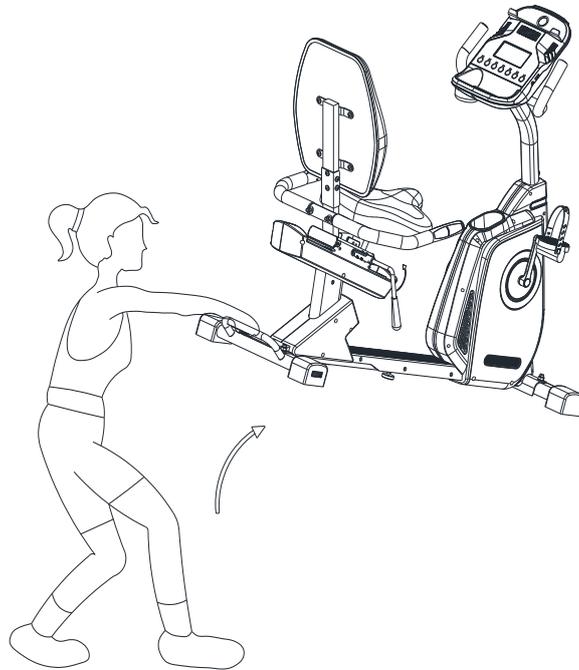
(3) ペダルバンドの調節

ペダルバンドをお好みの凸部にひっかけます。ご使用に適した長さに調節しておつかいください。



移動

- 本機はフロントスタンドのエンドキャップにキャスターがついています。
リアスタントには移動用にハンドルが付いています、リアスタントをキャスターが床にふれる移動可能域まで持ち上げると移動できます。
- 無理な体勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
- 1人で移動させる自信のない方は、必要に応じて複数人数にて移動を行ってください。
- 移動させる場合には、あらかじめ電源コードを引き抜いてください。



パネルについて



パネルの表示

- (1) TIME (時間) : 経過時間を表示します。目標時間が設定していない場合は 00:00 から 99:59 まで累積します。設定した場合は設定数字から 00:00 まで減少します。秒の単位で時間の変化を表示します。
- (2) SPEED (スピード) : 運動中の速度を表示します。最大値は 99.9km/H です。
- (3) RPM (回転数) : ペダルの回転数を表示します。0~15~999 で表示します。
- (4) DISTANCE (距離) : 0.00 から 99.99KM まで運動距離を累積して表示します。UP (アップ) /DOWN (ダウン) のボタンで目標距離の設定ができます。0.00 と 99.90 の間で 0.1km の単位で距離の変化を表示します。
- (5) CALORIES (カロリー) : トレーニング中に消費したカロリーを累積して表示します。最大値は 9999 カロリです。
- (6) PULSE (心拍数) : トレーニング中の心拍数を表示します。0~30 から 230 までの目標数値に設定ができます。設定した数値を超えるとビーブ音がします。
- (7) WATTS (ワット) : 0~999 でワットを表示します。
- (8) MANUAL (マニュアル) : マニュアルモードを表示します。
- (9) BEGINNER: 四つのプログラムを選択します。
- (10) ADVANCE: 四つのプログラムを選択します。
- (11) SPORTY: 四つのプログラムを選択します。
- (12) CARDIO: ハートレートモード。
- (13) WATT PROGRAM: ワットモード。

心拍数や体脂肪計は簡易計測です、あくまでも目安となりますので正しい計測は専用の機器にて行ってください。

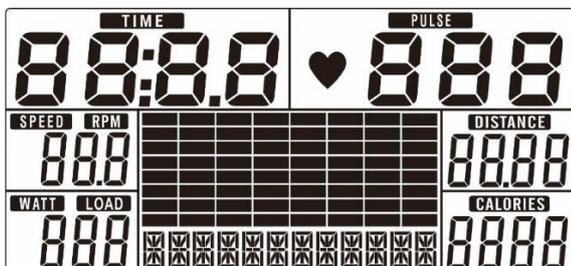
ボタン

- (1) アップ: 負荷を強める、数値を上げる時に押します。
- (2) ダウン: 負荷を弱める、数値を下げる時に押します。
- (3) エンター: 数値などを確定する時に押します。
- (4) リセット: 2秒以上長押しすると、再起動します。設定した数値で運動している時あるいはストップモードでしたら、リセットされます。
- (5) スタート/ストップ : 運動を始める時/ 停止する時に押します。
- (6) 回復 : 運動後の心拍回復度合いを測定する時に押します。
- (7) 体脂肪測定 : 運動を行っていない時に簡易体脂肪を測るときに押します。

操作

起動:

本体にACアダプターをさし、コンセントにプラグをさします。下図①場面になり、2秒ほど持ちます。



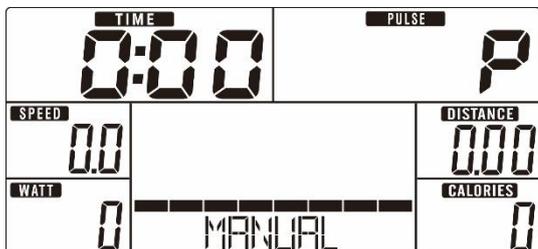
図①

初めての方は…スタート/ストップを押し運動を開始してください。

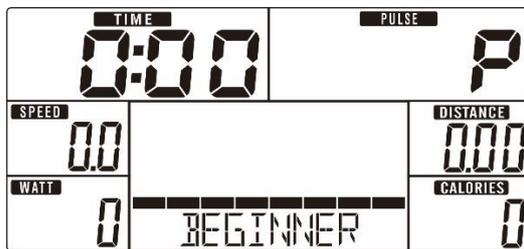
アップまたはダウンを押して無理のない程度の負荷に調整していただき運動を行ってください。

モード選択:

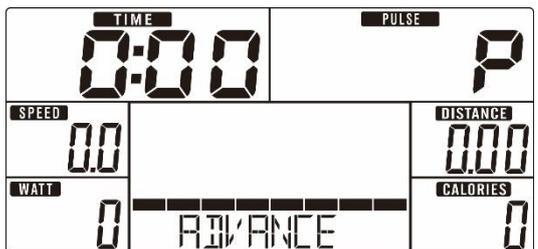
アップ/ダウンのボタンで図②の MANUAL → 図③の BEGINNER → 図④Advance → 図⑤の Sporty → 図⑥の Cardio → 図⑦の Watt を選択します。



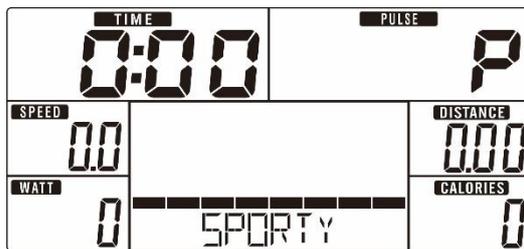
図②



図③



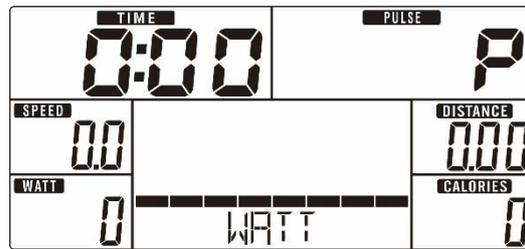
図④



図⑤



図⑥

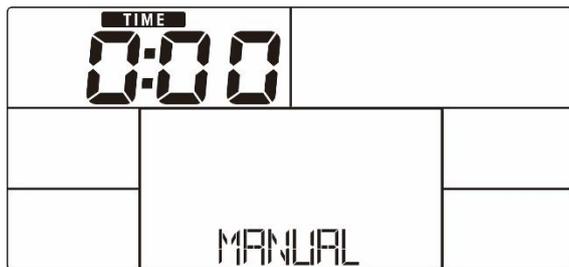


図⑦

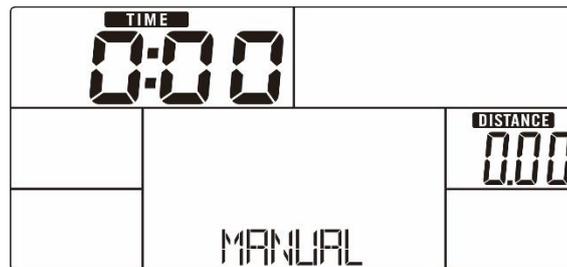
MANUAL(マニュアル) モード :

スタートボタンを押して、マニュアルモードを確定させます。

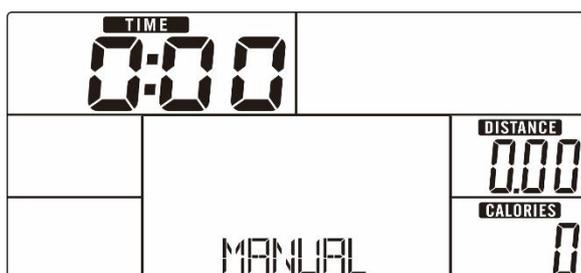
- (1) アップ/ダウンのボタンで MANUAL(マニュアル) モードを選んで、エンターのボタンで確定します。
- (2) アップ/ダウンのボタンで図⑧の TIME(時間)、図⑨の DISTANCE(距離)、図⑩の CALORIES(カロリー)、図⑪ PULSE(心拍数) を設定して、エンターのボタンを押して、確定します。
- (3) スタート/ストップのボタンを押して運動し始めます。アップ/ダウンのボタンで負荷を設定します。負荷の設定数は画面にある WATT のところに表示します。3秒ほど設定しない場合には図⑫の画面になります。
- (4) スタート/ストップのボタンを押して、運動を停止します。リセットのボタンを押して、メインメニューに戻ります。



図⑧



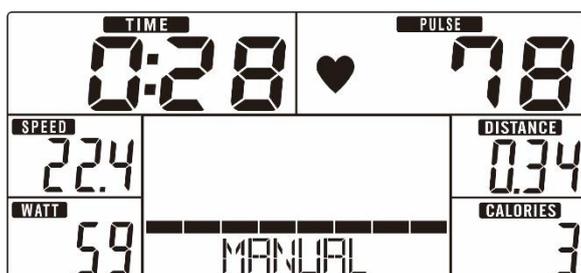
図⑨



図⑩



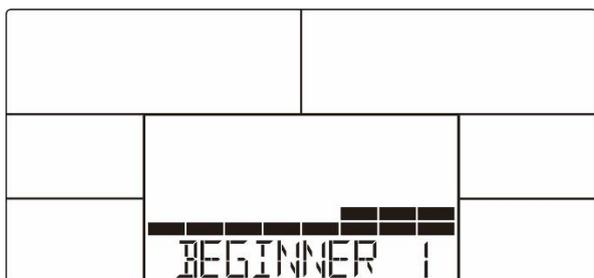
図⑪



図⑫

BEGINNER モード :

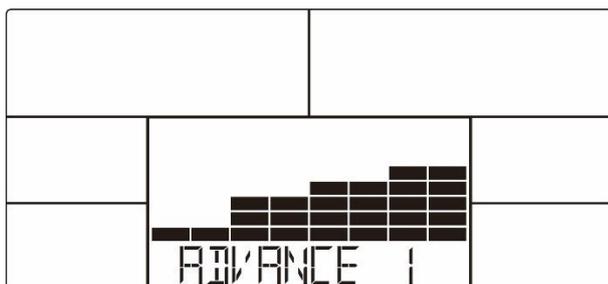
- (1) アップ/ダウンのボタンで BEGINNER モードを選んで、エンターのボタンを押します。
- (2) アップ/ダウンのボタンで図⑬の BEGINNER プログラムを選択して、エンターのボタンを押します。
BEGINNER プログラムは 1～4 の四つあります。
- (3) アップ/ダウンのボタンで TIME (時間) を設定します。
- (4) スタート/ストップのボタンを押して運動し始めます。アップ/ダウンのボタンで負荷を設定します。
- (5) スタート/ストップのボタンを押して運動を停止します。リセットのボタンを押して、メインメニューに戻します。



図⑬

ADVANCE モード :

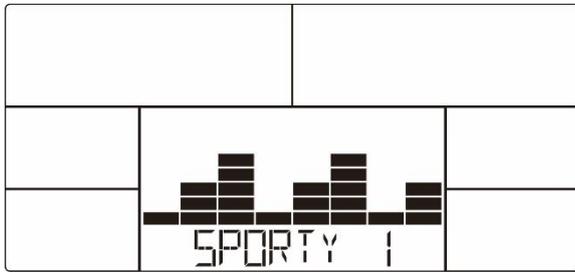
- (1) アップ/ダウンのボタンで ADVANCE モードを選んで、エンターのボタンを押します。
- (2) アップ/ダウンのボタンで図⑭の ADVANCE プログラムを選択して、エンターのボタンを押します。
ADVANCE プログラムは 1～4 の四つあります。
- (3) アップ/ダウンのボタンで TIME (時間) を設定します。
- (4) スタート/ストップのボタンを押して運動し始めます。アップ/ダウンのボタンで負荷を設定します。
- (5) スタート/ストップのボタンを押して運動を停止します。リセットのボタンを押して、メインメニューに戻します。



図⑭

SPORTY モード :

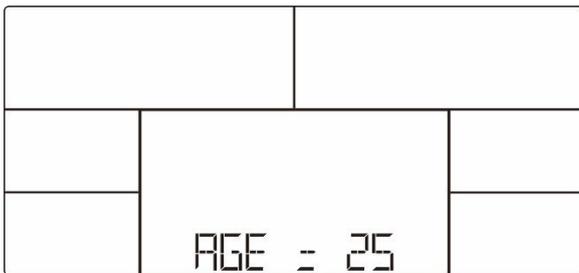
- (1) アップ/ダウンのボタンで SPORTY モードを選んで、エンターのボタンを押します。
- (2) アップ/ダウンのボタンで図⑮の SPORTY プログラムを選択して、エンターのボタンを押します。
SPORTY プログラムは 1～4 の四つあります。
- (3) アップ/ダウンのボタンで TIME (時間) を設定します。
- (4) スタート/ストップのボタンを押して運動し始めます。アップ/ダウンのボタンで負荷を設定します。
- (5) スタート/ストップのボタンを押して、運動を停止します。リセットのボタンを押して、メインメニューに戻します。



図⑮

CARDIO (H. R. C) モード :

- (1) アップ/ダウンのボタンで CARDIO (H. R. C) を選択して、エンターのボタンを押します。
- (2) アップ/ダウンのボタンで図⑯AGE(年齢)を設定します。
- (3) アップ/ダウンのボタンで図⑰の 55%、75%、90%あるいは TAG(目標 H. R.)を選択します。TAG の基準値は 100 です。
- (4) アップ/ダウンのボタンで TIME (時間) を設定します。
- (5) スタート/ストップのボタンを押して、運動を開始/停止します。リセットのボタンを押して、メインメニューに戻ります。



図⑯



図⑰

WATT モード :

- (1) アップ/ダウンのボタンで WATT を選択して、エンターのボタンを押します。
- (2) アップ/ダウンのボタンで⑱の WATT の目標数値を設定します。基準値は 120 です。
- (3) アップ/ダウンのボタンで TIME (時間) を設定します。
- (4) スタート/ストップのボタンを押して、運動し始めます。アップ/ダウンのボタンで WATT 数値を設定します。
- (5) スタート/ストップのボタンを押して、運動を停止します。リセットのボタンを押して、メインメニューに戻ります。



図⑱

RECOVERY (回復) :

運動を行わない状態でハンドルパルス部分を握り、回復のボタンを押します。TIME (時間) 以外の各表示がストップします。LCDのTIMEに図⑱の00:60から00:00にカウントダウンをしていきます。00:00になった時にLCDにF1~F6の6段階が表示します。

F1は非常に良いです。図⑳のF6がとても良くないです。運動をし続けて、その結果を改善します。



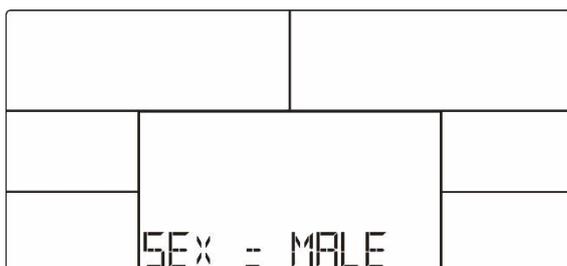
図⑱



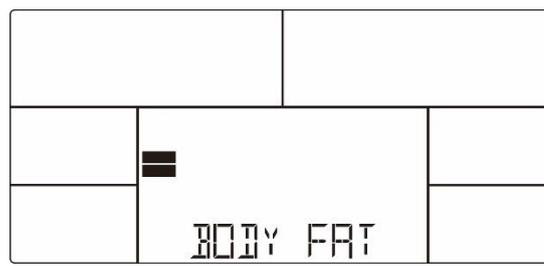
図⑳

BODY FAT (体脂肪測定) :

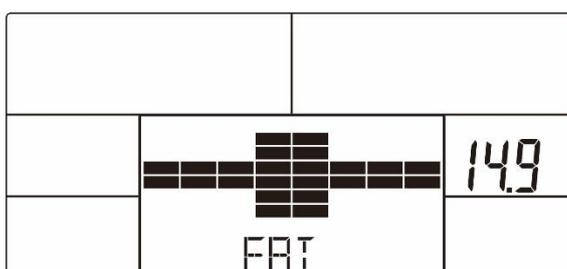
- (1) ストップモードで、体脂肪測定ボタンを押します。
- (2) 図㉑の GENDER (性別)、AGE (年齢)、HEIGHT (身長)、WEIGHT (体重) を設定してから測定始めます。
- (3) 測定している時には手をハンドルパルス部分を握ります。測定完成までにLCDに図㉒の“=”が8秒ぐらい表示します。
- (4) LCDに図㉓の体脂肪率、図㉔のBMIの数値を30秒ぐらいに表示します。
- (5) Error について：
 1. ハンドルパルスを持っていない時にLCDに図㉕の“= = ”が表示します。
 2. 心拍数が検出されない時にLCDにE-1が表示します。
 3. 体脂肪率/BMIの結果が5以下あるいは50を超えるとLCDに図㉖のE-4が表示します。



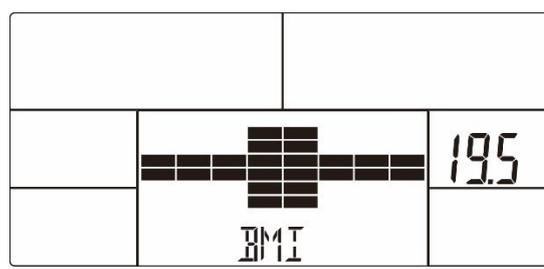
図㉑



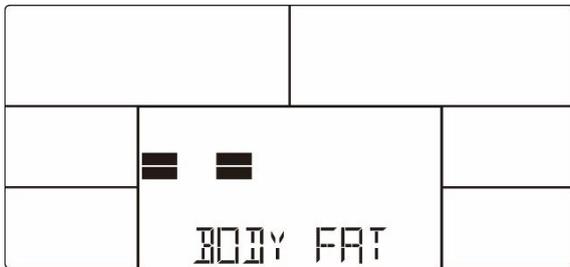
図㉒



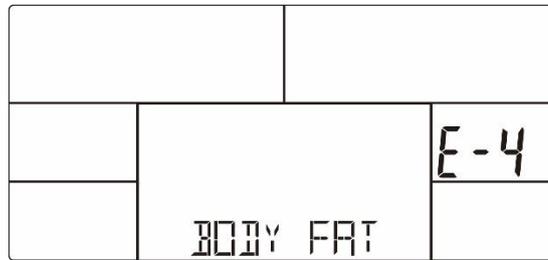
図㉓



図㉔



図②⑤



図②⑥

注意：

1. 操作を4分以上行わない場合には、スリープモード（パネルの表示が消えます。）に入ります。
ボタン押すと再起動できます。
2. 異常発生時には一度電源コードを抜き差ししてください。

故障かなと思ったら…

症状	原因	処置
パネルが表示されない(点灯しない)	ACアダプターが本機・コンセントにささっていない 接続コネクタがつながっていない	・ACアダプターさしてください。 ・コネクタの接続を確認してください。 (組立方法を参照してください。)
脈拍が出ない	接続コネクタがつながっていない パルス部をそれぞれ同時に握っていない。	・本書を参照し、コネクタの接続を再度確認してください。 ・パルス部を同時に数秒間握ってください。
運動中に「コト」と同じところで異音がする	ペダルが緩んでいる。	・右のペダルをそれぞれ一旦はずし、空回しをして異音がするかを確認してください。
グラグラする	床面が平らでない	・設置場所をかえる。 ・アジャスターで調整する。
ギンギン音がする	各ボルト等が緩んでいる。	・緩んでいるボルト等を一旦外しつけ直す。 ・アジャスターで調整する。
パネルにE1が表示されている。	パネルの故障や本体内部にある電気システムの故障が考えられる。	・販売店、メーカー等にご連絡してください。

★ お手入れ上の注意

- 汚れや使用後の汗等は、中性洗剤を薄めて含ませ固く絞った布で拭き、その後乾いた布でふき取ってください。
- 水をかけたり、シンナー・ベンジンなどで拭かないでください。
- パネルの汚れや汗、水分等は乾いた布で拭いてください。

**使用する前に各ボルトに緩みがないかを必ず点検してください。
緩みがある状態で使用した場合、破損する可能性があります。**

電気器具の注意事項

- ・ACアダプターを本体につなぎ、コンセントに差し込んでいただくと、LCDが点灯します。
- ・停止状態・運動状態いずれも、ボタン操作で設定レベルを増減できます。
- ・入力もしくは、計測が8分間無い場合、ディスプレイは自動的にシャットダウン状態に入ります。その際データが消えますのでご注意ください。

消耗品のご購入

症状	対処方法
ペダルが割れてしまった。	パーツのお求めや修理のご連絡は、大広株式会社までお問い合わせ下さい。 フリーダイヤル：0120-25-1622 携帯電話・PHS:03-5652-5056 受付時間：平日午前 10～12 時ならびに午後 1～5 時まで

製品メンテナンス

- 製品の美観を保つために、汚れや汗などは中性洗剤を薄めて含ませた布で拭き、その後乾いた布等でふき取って下さい。
- 水をかけたり、シンナー・ベンジンなどで拭かないで下さい。
- パネルの汚れや汗は、乾いた布で拭き取って下さい。
- ペダルの緩みなど、マシン各部位のボルト類に緩みが無いか常にチェックして、正常を保って下さい。

連続使用時間について

<使用時間を守ってください！>

本製品を未長くご使用していただくために、下記に示す使用時間を必ず守ってください。

- 連続使用時間は**60分**までです。
- 次に使用するときには、先に使った時間の**1/4以上**のインターバルを取ってください。

保証書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって、無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品名	DK-1030A 準業務用リカンベントバイク
保証期間	お買い上より1年間
お買上げ日	年 月 日
お名前	
ご住所	
TEL	— —

販売店：

- (1) 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料保証いたします。
- (2) 保証期間内に故障した場合は、輸入販売元にご依頼ください。その際、本書の有無をご連絡ください。
- (3) 保証期間内でも次の場合には保証は受けられません。
 - お買上げ後の移動、落下、転倒等による故障および損傷
 - 本来の使用目的以外による故障及び損傷
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変・公害・塩害等による故障及び損傷
 - 保管上の不備による故障及び損傷
 - 不当な修理、改造による故障及び損傷
 - 設置場所等の床面などの損傷
 - 本保証書の提示がない場合
 - 屋外にて修理を行う場合（建物の外、軒下、集合住宅の共用部等を含む）
- (4) 使用に伴う消耗品は、無償修理交換の対象になりません。
- (5) 準業務用以外に使用された場合は、無償修理交換の対象になりません。
- (6) 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- (7) 保証期間が過ぎた後の故障については有償にての対応になります。
- (8) 本保証書は日本国内のみ有効です。
- (9) 修理品については運賃、諸費用は原則としてお客様負担でお願いします。
- (10) 本保証書は、お買上げ年月日、販売店名、販売店印が記載されていないと無効です。

ただし、商品をお届けした際の配送伝票や購入日が証明できるものがある場合にはその限りではありません。
- (11) 出張修理に関しては、保証期間内でも有償になる場合があります。

フリーダイヤル：0120-25-1622

* 携帯電話、PHS、IP電話からはご利用になれません。

受付時間：平日AM10～PM12時、PM1～5時までになります。

輸入販売元 大広 株式会社
(<http://www.daikou-dk.com/>)

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-41-4 2F

TEL：03-5652-5056 FAX：03-5652-5078

受付時間 (平日AM10:00～12:00 PM1:00～5:00) 土・日・祝日休み